



- 【学校の Competence】
- ＜児童＞
 - 仲間と協力することの楽しさの自覚
 - きちんと言葉で表す力の向上
 - 多様な意見について考えるよさの未体験
 - ＜職員＞
 - ・協働する力 (協働的な職場環境)
 - ・課題解決に向け挑戦する力 (学び合う文化)
 - ・教育愛

【学校の教育目標】 **心ゆたかに たくましく 生きぬく子**

【県の教育方針】

目指す人間像 **地域社会人**
 自立力 自ら学び自ら考え、行動し、自分で将来を切り拓く力
 共生力 人や社会とつながり、自らの役割と責任を果たす力
 自己実現力 夢に挑戦し、グローバルな視点で問題の解決を目指し、地域や社会の発展に貢献する力

【目指す学校像】

牧小ブランド「少人数」をインクルーシブ教育に
 よさを見つけ、引き出し、(達成感・成就感に、共生に、自己実現に) つないで 拓く
 最大化 少人数を活かす
 最小化 少人数だから改善する

- ・どの子も位置づく学習活動
- ・(縦割り総合的な学習の時間を核にした) 探究活動の「楽しい」の体感
- ・(縦割り総合的な学習の時間を核にした) 自他の多様性・多面性の自覚化
- ・自己実現し、共生力を高めるSOSの力の伸長

	現状・前年度の成果	今年度の重点	今年度の取り組み目標
考える子 (自立力) 学びを自覚し、主体的に取り組む子	・最小限の支援と見届けによる、「自分の思いや感じたことを言葉で話すことができる」と自覚する児童の増加 ・たてわり総合による、異年齢集団での活動や協働学習の楽しさの体感 ●学力格差の拡大	◆思考力や判断力の育成 (交流活動を位置付けた学習活動) 学力推進教師 研推長 ◆自立した学習姿勢づくり 教務主任 学習指導委員会	・正しく伝え、自分と違う意見について考え、多様性・多面性を受け入れていく意識を高める ←多様な意見を引き出す場をつくる *総合的学習の視点ステップ ←自分の考えを言葉で表す場をつくる ←ICTを効果的に活用する学習活動を展開する ←主題研究教科、算数科の授業スタイルを確立する
助け合う子 (共生力) よさを認め合い、共に支え合う子	・「仲間と協力することを楽しい」と自覚する環境の維持 ・継続した声かけ、家庭との関係づくり、分かる授業による、遅刻・欠席しがちだった児童の登校意欲の向上 ・地域住民との協力体制による豊かな体験・交流 ●「よりよく」を求める意識の弱さ	◆いじめ、不登校を未然に防止する温かな学級づくり 教育相談CD ◆共生力、SOSを出す力の育成 生徒指導主事 生活指導委員会	・自分のよさと弱さを自覚し、他の気持ちを押し量る力を高める ←教師が一人一人を大切に接するモデルとなり一人一人の居場所と絆づくりを進める ←「こころのアンケート」3か月見届けと教育相談を徹底して行い変容や予兆をとらえる ・SOSを出し弱みを出したり助けを求めたりする方法、力をつける ←課題にあった内容を選択し、適時SOS教育を推進する *生徒指導の視点ステップ ・人権教育を充実し、自他の多様性・多面性を自覚し、共生力を高める ←「人権こころの花」の取り組みを継続する *学校課題の視点ステップ
きたえる子 (自己実現力) 意欲的に取り組み、心身をたくましく鍛える子	・どの子にも活躍の場の準備による自己肯定感の高揚 ・外部の人材活用 (ようこそ先ばいシリーズ等) による地域の大人によるキャリア教育・ふるさと教育の充実 ●「いじめはいけない」の自覚が100%ではない	◆自己有用感を高める特別活動の推進 特活主任 ◆保健安全教育の充実 保健主事 養護教諭	・自己有用を自覚させ自己実現力を高める ←一人一役をやり切らせ価値づける ←身近な大人(教職員)が強みを発揮して生き生きと生きる ・自ら命を守る危機管理能力を高める ←養護教諭とTTで指導し、心身の健康の保持増進への意識を高める
資質向上・人材育成	◆学び合い・協働的な職場環境 ◆新たな教師の学び ◆信頼される職員集団	・同僚に授業や働き方を示し協働して学ばせる ⇄ 先輩教師の授業、働き方を見て、真似て、聞いて学ぶ ・学習指導の力、生徒指導の力、経営・分掌を確かに遂行する力を高める ・特別な支援を必要とする児童に対応する力を高める ・ICTや情報・教育データの利活用の力を高める ・心身の健康を保つ働き方、強みを発揮する働き方	・不祥事を出さない・許さない、声をかけ合う同僚性の向上

総合ステップ1 関心から意欲に
児童の関心のある内容（今回は総合）で学ぶ意欲につなげる

総合ステップ2 付けたい力をつける
必須① 単位時間ごとに、総合的な学習の時間の付けたい力を明確にして実施する
必須② 教科の指導内容とリンクする
必須③ 協働に徹する（異学年）
必須④ 端末を積極的に活用する
必須⑤ 図書館教育・ふるさと教育とリンクする（図書館の成果物は国語科のみならず）

総合ステップ3 多様な観点・批判的思考の力をつける
二次資料（本やマスメディア、インターネット等にある資料）を鵜呑みにせず、情報源の一次資料（実験・観察・インタビュー・実態調査等）を大事にして自分の頭で考える活動に誘う。

**インクルーシブな
学習活動**
学習進度の
ゆっくりの子も 速い子も

生徒指導ステップ1 生徒指導3機能とリンクする
・自己決定の場を与える
・自己存在感を与える
・共感的人間関係を育む

学校課題ステップ1 違う考えについて考える力をつける
ステップ① 多様な意見を引き出す
ステップ② 教師が多様な視点の意見のよさを言葉で伝える
ステップ③（正誤だけにとどまらず）
自分と違う意見について考える場をつくる
ステップ④ 教師がよさを言葉で伝え、児童が批判的視点をもって交流し、共感し合う経験を繰り返す